

## 尋常性白斑

のもと皮膚科クリニック 野本 重敏

(2005年11月7日放送)

### Q 治療に関するトピックスがありますか？

A ナローバンドUVB(311nmにピークのある比較的波長のそろった特殊な紫外線)の照射が白斑の治療に有効であることが知られるようになり、これを照射する装置が開発されました。現在ではこのナローバンドUVBを照射する方法が白斑の治療に最も有効とされています。

### Q どのような治療法ですか？

A まず照射を行う前に、その方の紫外線に対する感受性を見る検査を行います。背中に5分ほどUVBをあてるだけですが、翌日に判定をして、その方がどのくらいの照射量で赤みを生じる体質かというのを調べます。この測定値を最小紅斑量(MED)といいます。その数字をもとに最初に照射する量を決めます。実際の治療が始まったら、症状を見ながら徐々に照射量を上げていくことになります。照射する回数は週2回以上が望ましいところですが、お忙しくてなかなか通院できない方はやむを得ず週1回で照射を行っています。2週間に1回くらいですとあまり治療効果は期待できないところです。

### Q 治療の効果は？

A 早ければ数回の照射で色素の再生を確認できますが、普通は20~30回くらい照射を行わないと効果が現れません。(日焼けのように、とくにヒリヒリしたりすることはありませんが、軽い発赤を生じることはあります)ビタミンD3外用剤といわれるものを一緒に使用すると効果が高まるとされています。顔や首などの白斑に対してはかなりの改善が期待できますが、残念ながら手や足の白斑については反応があまり良くないですね。照射による副作用はとくにありませんが、やはり紫外線ですので長期の大量照射による発癌性というのが気になるところです。この治療法はまだ登場して間もないので、長期的な合併症というのはまだよく分かっていないわけで

すけれども、少なくとも従来の紫外線療法で見ると、通常の照射量であれば発癌性というのはほとんど心配しなくてよいと思われます。

Q 新潟県内で治療の普及状況は？

A ナローバンドUVBを照射する装置自体がまだ普及していませんが、当院では2年前よりこの治療を行っています。白斑をすべて消し去ってしまうほどの夢の治療法ではありませんが、従来の治療法よりは明らかに優れていると思いますので、ぜひ試みていただきたいと思います。

Q 白斑を隠す方法はありますか？

A 化粧品の類でうまく隠すこともできます。ジヒドロキシアセトンという物質を含んだ白斑用の着色剤がありますが、これは3 - 4日という短い期間ですが一時的に肌色の色素を着色させるものです。それ以外にもアザを隠すために開発されたファンデーションのような製品もありますので、近くの皮膚科で相談を受けるとよいかと思います。